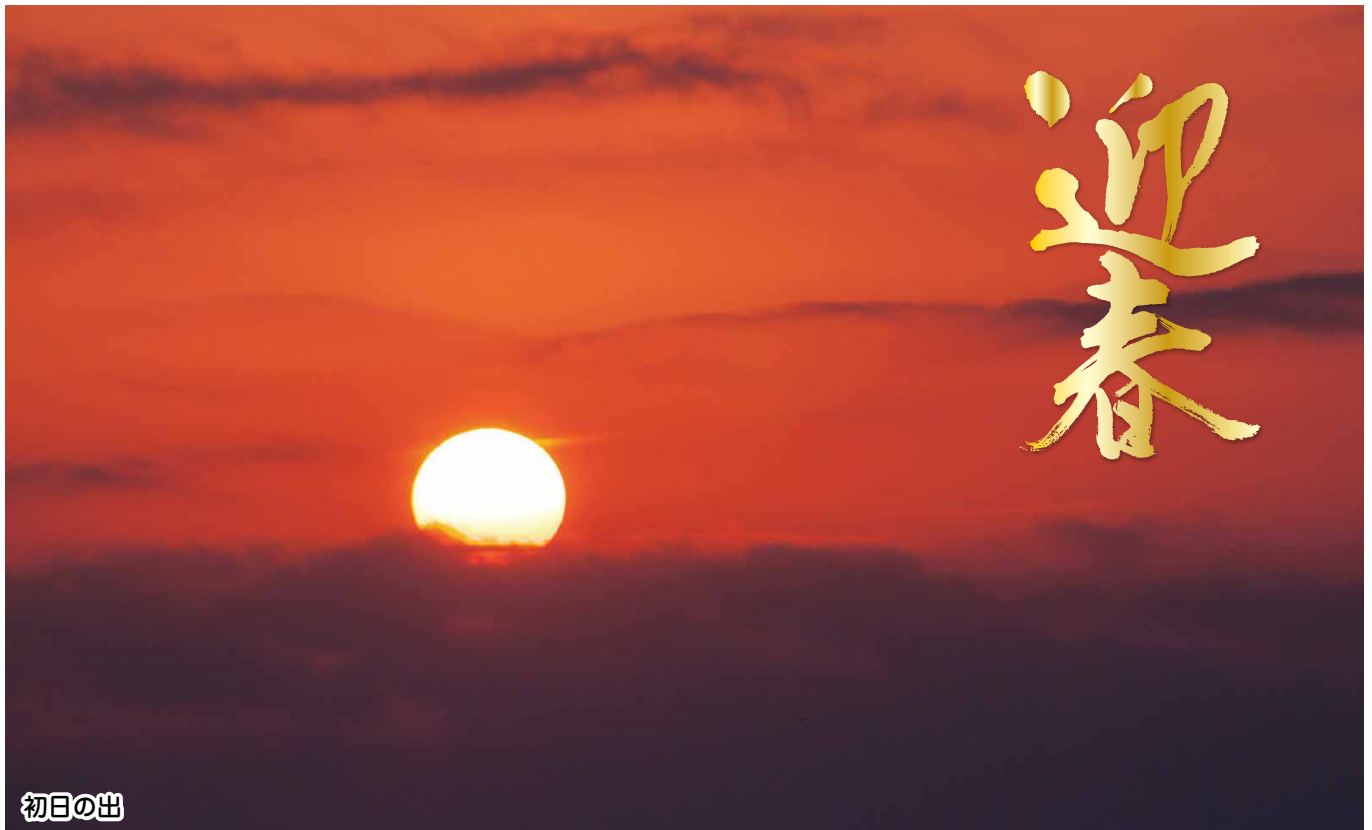


2021 January

Vol.75

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター <https://hiroshimanishi.hosp.go.jp/>
〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代)



初日の出

■ CONTENTS ■

■年頭のご挨拶…………… 2	■患者図書室から……………10
■総合診療科紹介…………… 3	■栄養士のつぶやき④……………11
■コメディカル紹介【臨床検査科】…………… 5	■地域医療連携室実績報告……………11
■医療安全取り組み発表会を実施して…………… 7	■外来診療担当医表……………12
■ひこばえ通信 vol.3 …………… 9	

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター
「にっしーくん」



令和3年(2021年)明けましておめでとうございます。

皆さん新年を迎え、気持ちを新たにされていることと思います。今年こそは、平穏で安心して過ごせる年になってほしいと願い、新年をお迎えになられた方が多いと思います。

昨年は、全世界がコロナ禍で、あらゆる人々が大きな被害を受け不安を抱え、今も、はっきりとした出口が見えていない状況です。

当院もコロナ禍の影響は少なくなく、発熱外来には、疑い患者さん含め多くの方が受診され、嚴重な注意の元、診断を行ってきました。一方、当院はセーフティネット分野を担っている病院でもあり、そこを守ることも重要なミッションの一つであることを肝に銘じて運営しておりました。地域への積極的な関りを行いつつ、外敵の侵入を防ぐ、この相反することの遂行のため、非常に神経をすり減らす毎日を過ごしております。

ただ、第一波と呼ばれる4～5月頃は、対応に必要な防護服なども不足し、マスクすらも十分に準備出来ない状況でしたが、現在は、十分確保できております。また、PCR検査機器や隔離用の陰圧装置、空港に設置されているようなサーマルカメラなど、当院では既に整備済みです。

地域の方々、行政機関、医師会などからご支援もいただいたことにつきまして、この場を借りてお礼申し上げます。

受診をためらっておられた方も最近では、普通に受診されるようになり、現在は、入院・外来ともほぼ通常の診療に戻ってきております。これは、地域の皆様に当院が認められ、頼っていただいている現れであり、地域医療への貢献度を反映しているものと思いき喜んでおります。ただ、依然として、感染のリスクは続いておりますので、慎重な感染防御を行っていくことに変わりはありません。なにはともあれ、一刻も早い収束を願うばかりです。

当院は、地域医療支援病院、災害拠点病院、救急告示病院、へき地医療拠点病院、難病医療拠点病院、在宅療養後方支援病院などのさまざまな機関指定を受けており、地域の中核病院として地域社会に必要とされる医療の提供を続けるよう努力してきました。

病床の稼働率もこの2～3年は96%を超え、経営的にも安定しております。

毎年、国立病院機構では、病院評価が行われており、経営の効率性・成長性・健全性・診療の質・臨床研究・教育・地域貢献など医療に関するさまざまな項目について、評価されています。当院は、例年高い評価を受けておりますが、昨年、令和元年度は、全国140病院中2番目という非常に高い評価をいただくことができました。

今後は、地域のための(市民)病院であることを継続しつつ、さらに社会に適応できるよう、特化した機能を取得していくことが病院の存続のためには必要かも知れません。

その他、院内外に新たな可能性を見つけ出し、当院ならではの「挑戦」を皆さんと一緒に展開したいと思っております。

広島西医療センターが安定した水平飛行を続けるためには、常に先を見通し上に向かう揚力が必要なことを、今回改めて認識しました。

これからも地域医療の強力な担い手として、「患者さんと共に」安全・安心な医療の提供をお約束すると同時に、職員がみんな「元気で幸せに」働き、過ごしていけるよう努めてまいります。今年もどうぞよろしくお願いたします。

総合診療科 紹介

総合診療科医長 生田 卓也

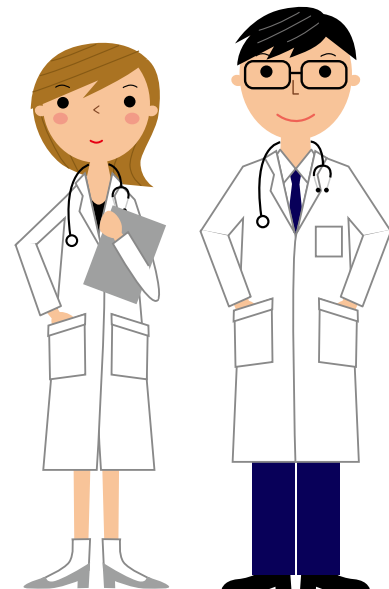
●はじめに

当院の総合診療科では、かかりつけ医が無く全くの初診で体調不良であるが、何処の診療科に受診したらよいか分からないといった患者さん、病気の診断が未だについておらず不安を感じている患者さん、紹介状を持っていないが当院の専門診療科に受診を希望される患者さんなどに対して初期診療対応をさせて頂いております。当科にて病歴聴取、身体診察をさせて頂き、検査などを経て確定診断が付き必要と判断されれば院内の専門診療科へ紹介する事が出来ますし、専門的治療の必要がないと判断された場合には当科にて治療を受けて頂く事も可能です。大竹地区の開業医の先生方をはじめ、近隣地域のかかりつけ医の先生方から紹介状を頂いて紹介受診して頂く事も可能です。



総合診療科外来は16番です。

診療メンバーは現在、生田卓也、亀谷貴浩の2人ですが、2020年10～12月の期間は内科専門医研修中の河口達登先生が加わり3人で初診外来、時間外受診対応、救急車対応を分担して診療しております。



●診療実績

	入院患者数(名)	常勤医師数(名)
平成27年度	355	3
平成28年度	502	5
平成29年度	243	3
平成30年度	301	3
令和1年度	319	2

●新型コロナウイルス感染対策

最近の話題としては、何といたっても新型コロナウイルス感染の拡大です。これまでも当科で、発熱や咳、たんの様な呼吸器症状のある患者様の診療をする事は多かったのですが、今年度は感染対策を徹底して診療する事が求められています。

総合診療科の外来待合には、様々な理由で受診をしてこられる患者様の他に健康診断を受けられる患者さんもおられますので、患者⇔医療関係者だけでなく患者⇔患者の間での感染を防がなくてはなりません。マスクの着用は必須ですが、待合のイスなども間隔をあけて座って頂くことをお願いしております。

高熱などの症状で感染症が疑われる患者さんには隔離室に入って診察を待つ必要があります。もし自宅で熱を測って高いことがわかっている場合は、病院玄関から入って受診受付をする前に電話連絡をしてどのように受診したらよいかを訊ねて頂いたら、スタッフが案内しやすいので、よろしいかと思います。病歴や症状からコロナウイルスの感染が疑われる場合には、感染予防のためN-95マスクやガウン、フェイスシールドなどの感染防護具を着用してから鼻咽腔から検体採取検査をさせていただきます。症状が軽く入院の必要のない患者さんはPCRの結果を待たずに帰宅して頂く事がほとんどです。幸い当院では、現時点では新型コロナウイルスPCR陽性者はまだ発生していませんが、いつ発生してもおかしくはない状況とは思いますので緊張感をもって取り組んで参りたいと思えます。



総合診療科診察室には簡易型陰圧装置を設置



検体採取時にしゃみがDrにからないように[ドリップブロック]を設置



迅速に新型コロナ対応できるよう救急外来にPPEを用意



正面玄関にサーマルカメラを設置



救急外来にサーマルカメラを設置



救急外来に車いす型アイソレーターを整備

コメディカル紹介 臨床検査科

●はじめに

臨床検査科は臨床検査科長（診療部長）1名、病理診断医1名、臨床検査技師15名、検査助手1名で構成され平均年齢ギリギリ30代を超える40歳で日々の臨床検査業務に励んでいます。

それでは各検査室を紹介します。

●検体検査室

一般検査、血液検査、生化学検査、輸血検査をワンフロアでおこなっています。

一般検査では尿試験紙で尿中の蛋白、糖、潜血などを調べる尿定性検査、顕微鏡で尿中の細胞を詳しく見る尿沈渣検査、その他に便潜血検査をおこなっています。

血液検査では血球分析装置を用いて血液中の赤血球、白血球、ヘモグロビン、血小板などの血球数の測定や血液の凝固機能を調べる検査をおこなっています。

顕微鏡で血液から作成した標本を観察し白血球の分類や異常な細胞の有無を確認しています。

血液疾患の診断に重要な骨髓検査では骨髓液から標本を作製し細胞分類をおこない、白血病が疑われる場合は特殊染色をおこなうなど迅速な診断に対応できる体制を取っています。

生化学検査では自動分析装置を用いて肝機能、腎機能、腫瘍マーカー、薬物血中濃度、ヘモグロビンA1cなどの検査をおこなっています。

プロカルシトニン（敗血症）、 β -Dグルカン（深在性真菌感染症）、NT-Pro-BNP（心機能）、などの特殊な項目の検査もおこなっています。

輸血検査では輸血療法を必要とする患者さんに安全な輸血を供給するため、輸血の際の交差適合試験を始めとする輸血関連検査や輸血用血液製剤の管理をおこなっています。

●細菌検査室

感染症の有無や抗生剤の効き具合を調べるため血液、喀痰、尿などを用いて病原性のある一般細菌、抗酸菌の培養・同定・薬剤感受性検査をおこなっています。

培養検査は最終報告までに数日から数週間かかりますが、その日のうちに結果が出る検査としてコロナウイルスやインフルエンザウイルス、ノロウイルス、肺炎球菌などの微生物迅速検査をおこない感染症の迅速な診断、治療に貢献しています。

また感染対策チームのスタッフとして抗菌薬の適正使用への情報提供（AST）や院内感染防止の取り組み（ICT）に参加しています。

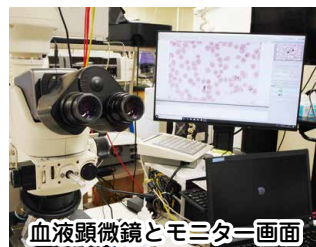
●病理診断室・病理検査室

組織診、細胞診、病理解剖の業務をおこなっています。

組織診とは手術や内視鏡生検などで採取された体の一部の組織を用いて標本を作製し病理医が診断をおこないます。



尿沈渣鏡検中



血液顕微鏡とモニター画面



凝固検査装置



生化学分析装置

 β -Dグルカン測定装置

輸血検査判定中



血液培養ボトル架設



安全キャビネット内で培養検体処理中



病理組織切り出し作業

その標本は、主に細胞形態や構築を観察するHE染色と呼ばれる染色で作製しますが時には免疫染色と呼ばれる特殊な染色もおこないます。

免疫染色とは抗原抗体反応を利用した染色でHE染色では判断できない細胞を染め分け診断の補助に役立てたり、がん細胞の種類を染め分けることでがんの治療薬の選択にも関わっています。

細胞診とは尿や喀痰、穿刺吸引で採取された細胞で標本を作製し、細胞検査士が顕微鏡で観察します。癌などの異常細胞がないか調べて、疑わしい細胞が出ている時は病理医とディスカッションして細胞診断しています。



病理診断室(モニター画面でディスカッション)



細胞診鏡検査(ディスカッション顕微鏡)



自動免疫染色装置

●生理検査室

生理検査では検体検査と違い患者さんの体に直接機器を当てて検査をしています。

心電図、肺機能、脳波、血圧脈波、睡眠時無呼吸検査、超音波検査、神経生理学検査などをおこなっています。

心電図検査は手足と胸に電極を付けて心臓からの電気信号を記録し、心臓の脈の乱れや狭心症などの病気がないか調べています。



心電計



心臓超音波検査

睡眠時無呼吸検査 (PSG検査) は睡眠中に呼吸が止まっているかどうか、止まっている時間や回数など睡眠の状態を調べる検査です。自宅で出来る簡易検査と1泊入院でおこなう精密検査があります。

超音波検査は体の表面から人の耳には聞こえない超音波を当て体内の組織から跳ね返ってきた超音波を画像化し異常の有無を調べています。



生理検査受付のにっしーくん

当院では心臓、腹部、乳腺、頸動脈、下肢血管、甲状腺の検査をおこなっています。

臨床検査とは医師の診断や治療において重要な役割を果たしております。

広島西医療センター臨床検査科では検査の精度を保てるよう日本医師会や広島県医師会が主催する外部精度管理調査に参加し、信頼できる検査結果を提供できるよう日々仲間とともに一丸となって取り組んでいます。



コロナ禍のためマスクで集合写真



医療安全取り組み発表会を実施して

セーフティーマネージメント部会

当院では毎年11月に医療安全取り組み発表会を開催しています。この発表会は、各部署で日頃から医療安全に関して取り組んでいる事例を発表し、更なる医療安全の向上を目指すことを目的としています。各部署からの発表はポスター掲示され、投票により上位に入賞した部署には口述による発表も行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、口述発表は中止とし後日表彰式のみ行いました。

ポスター発表のみとなりましたが、非常に多くの職員が関心を持って閲覧されました。他部署の医療安全防止への取り組みを知ることによって自部署の医療安全防止へ繋がり、医療安全を推進していく上で大きな力となります。今後もこの活動は継続していきたいと思っています。



第1位 薬剤部

琢磨和晃



抗がん薬については医療従事者の職業暴露を回避することが求められていますが、現在COVID-19の影響で抗がん薬を調製・投与する際に着用するガウンなどの流通が不足している状況です。当院では、このような状況下でも職員が安全にがん化学療法に取り組めるように点滴静注で投与される抗がん薬についてはすべて閉鎖式薬物移送システムで投与させていただくことになりました。



第2位 1あゆみ病棟

藤岡新良仁



新型コロナウイルス感染拡大が深刻化しています。6月に当病棟では感染者発生を想定し病棟を閉鎖して防護服を着用の業務をシミュレーションしました。

防護服を着用して業務したことで、大きく3つのことがわかりました。①防護服を着用することでナースコールやアラームが聞こえにくい。②防護服は簡単に着脱できないため、水分補給が困難であり職員の気分不良や脱水症状が起こりやすい。③長時間、防護服を着用することは、ストレスが高く、普段と異なりケア提供に難しさがあり、患者さんへ不安を与えやすいのではないかと意見がありました。

今回の体験で医療者として感染防止行動の重要性を再認識出来ました。

第3位 東3病棟

笠井志保



東3病棟では約1/4の患者さんがPICCを挿入されており、PICCの管理の重要性は年々増加しています。使用頻度が増えるにつれインシデントも増加傾向のため、今回、PICCの閉塞や感染といった問題点を抽出し、適切な清潔操作や点滴後の管理について対応策を実施していきました。その結果、予定外のPICCの再挿入が減少し患者の負担軽減に繋がりました。今後も入院患者さんに、より安全に治療に臨んでいただけるよう技術・

知識ともに身につけていきたいです。



第3位 西3病棟

中 矢 雅 也



SHLL分析は、個人の責任を追及するものではなく、インシデントが発生した時の環境・勤務状況、建物の構造や手順といった多くの要因を分析して対策を立てます。

分析を通して、患者さんの安全な入院生活の為に当事者の要因だけでなく、多くの環境因子について学ぶことができました。今後の看護実践に活かしていきたいと思ひます。



第3位 1若葉病棟

大 道 恵 子



前年度に引き続き、豪雨での土砂崩れ発生時の避難訓練を行いました。今回は呼吸器使用中の患者さんや、酸素投与が必要な患者さんを想定対象に訓練の実施をしました。避難経路も外通路を使うなど病棟全体で安全で迅速な避難搬送の方法を考える機会となりました。また、生命維持である精密機器の持ち運びや避難時の優先順位のつけ方、指示の出し方など改善していく点が明らかになりました。

引き続き災害時に備えた訓練を実施していきたいと思ひます。



第3位 手術室

廣 重 あかり



手術室では「安全」を重視していますが、過剰な確認作業をしている可能性はないかと考え、器械組時の確認をダブルチェック（2人での確認）からシングルチェック（1人での確認）へ変更しました。その結果、器械組業務をミスすることなく、業務拘束量（平均業務時間×平均人数）を削減できました。一人で確認することで、確認作業に対する責任感が向上したと考えます。整理整頓による作業スペースの改善はもとより、手術前・手術後訪問などの充実を

図り、患者の看護に活かすことができようになりました。



第3位 栄養管理室

瀬 尾 洋 介



栄養剤の配膳担当者が変更となって以降、栄養剤を温側へ入れるといった今までにはないインシデントが発生しました。栄養士と調理師で検討し、栄養剤を入れる際に目に留まりやすい標識を付けました。以後、栄養剤の温/冷による誤提供は発生していません。スタッフ全員で問題解決に取り組んだことが、インシデントの減少につながったと思ひます。



ひこばえ通信 Vol.3

統括診療部長 浅野 耕助

新年あけましておめでとうございます。

本年もひこばえ通信をよろしく願いいたします。

今回もVol.2に引き続き炭焼きに関する話題をお届けします。前回、台場クヌギから炭焼き職人の手により作られる“池田炭・一庫炭”を紹介したところ、読者の方から「それは菊炭と呼ばれて、燃える形がきれいですよ。」との情報をいただき、調べてみました。池田炭・一庫炭を産する大阪府北部以外に岩手から北関東、南は四国の愛媛県や九州の熊本県に至る地域で、クヌギだけでなくカシなどを原料として、太さ、長さをそろえて茶道用に作られているものを“菊炭”と呼んでいるようです。その名の通り断面に木質に沿って放射状に亀裂が入り、燃えるとその亀裂の奥からほのかに炎の赤みがさして、まるで菊の花のように美しいもののようです。さらに火力が強く、一定の温度で燃焼し、燃えた後形を保ったまま真っ白になるものが、良質な菊炭の条件だということです。

茶道の様子を紹介するホームページを見てみると、茶の湯を適温に保つために炭のサイズまで厳格に指定されており、それも数種類の太さを使い分けるとされています。さすが千利休が愛用しただけのことはありますね。この太さをそろえるために適していたのが、ひこばえの成長を利用した台場クヌギであったのです。

さて、火力に木炭を使うことは日本だけでなく世界中で行われてきたのですが、イタリアには、その炭焼き人のパスタと呼ばれる料理があります。そう、“カルボナーラ”です。自分が子供の頃はスパゲッティ（パスタなんて言わなかった）といえば、ソーセージ、玉ねぎ、ケチャップで作る所謂ナポリタンしかなかったのですが、このカルボナーラの由緒は、降りかけられた黒コショウが炭の粉に見えるからとか、炭焼き職人が山中にこもって炭を焼く間、生卵、ベーコン（イタリアではグアンチャーレというそうです）を食材にして作ったのが始まりとか、18世紀初頭にナポリ王国でフランス革命をまねて作った秘密結社“カルボナーラ”からとられた名など諸説あるようです。

夜半に執筆していて、小腹がすいてきました。夜食をとるとまた体重が増えていけません。

では今回はこの辺で、次回もお楽しみに！



台場クヌギと菊炭



カルボナーラ



患者図書室から



コロナ禍の 今だからこそ読みたい おススメの本 - コロナに負けるな -



新型コロナウイルス感染拡大の影響により、私たちの日常生活は一変し、まだ収束は見えない状況です。「どこにでも自由に出かけ、家族や友だちと会う」、そんな当たり前だと思っていた日常が、どれだけ貴重で幸せなものであったか初めて気づきました。

コロナ禍以降、感染症をテーマにした本がよく売れています。患者図書室にも、関連本を置いてあります。皆さまのコロナブルーを乗り越えるヒントになる情報が載っているかもしれません。どうぞご活用ください。

世界一わかりやすい 新型コロナウイルス 完全対策BOOK

寺嶋 毅・西脇 俊二 監修/宝島社

正しく理解して、肺炎から身を守る。免疫力UP！感染を遠ざける知識と予防法満載！



感染症専門医が普段やっている 感染症 自衛マニュアル

佐藤 昭裕/SBクリエイティブ株式会社

新型コロナウイルス、インフルエンザ、溶連菌・・・。医師がやること やらないこと。

肺炎がいやなら、のどを鍛えなさい

西山 耕一郎/飛鳥新社

1万人を治療した名医が教える。寿命を10年のばす1日5分の「のど体操」。「のどの筋肉」は何歳からでも強くなる！



免疫力を鍛えるスーパー食事法

星野 泰三 監修/講談社

ガンも危険な感染症も撃退！栄養成分を多く含む免疫力向上食材とその材料を効果的に調理する方法やしょうずな組み合わせ方を紹介。



絶対に休めない医師がやっている 最強の体調管理

大谷 義夫/日経BP

代わりにいないあなたへ！日本人7割が間違えるマスクの使い方、ほか。30年以上、病気知らずの名医が教えます。

最高のラジオ体操 一生動けるカラダをつくる！

青山 敏彦/朝日新聞出版

元NHKテレビ・ラジオ体操のカリスマ指導者が教える！本当にすごい！体・頭・心に効く究極の健康法。



マンガでわかる ココロの不調回復 食べて うつぬけ

精神科医 奥平 智之・マンガ いしい まき/主婦の友社

ココロが楽になる食べ方ガイド。イライラ、疲れも劇的に改善！



うつヌケ うつトンネルを抜けた人たち

田中 圭一/KADOKAWA

共感の声、続々！！うつ病脱出コミック！！「私もこうして“うつ”をぬけました」

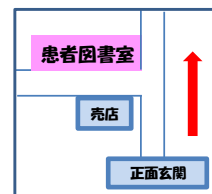


コロナのこと おしえて！ パトスせんせい

文：つつみ ゆたか・絵：つつみ くみ/パトジェンアーツ出版

コロナ禍のいま、大人だけでなく、多くの子どもたちも不安な気持ちを抱えています。絵本の中でパトスせんせいが新型コロナウイルスについて、やさしく教えてください♪

開館時間 月～金 10時～15時（土日祝日・第2月曜日をのぞく）
※祝日と重なる第2月曜日は、第4月曜日が休館となります。
場 所 正面玄関から入って直進 70m 先



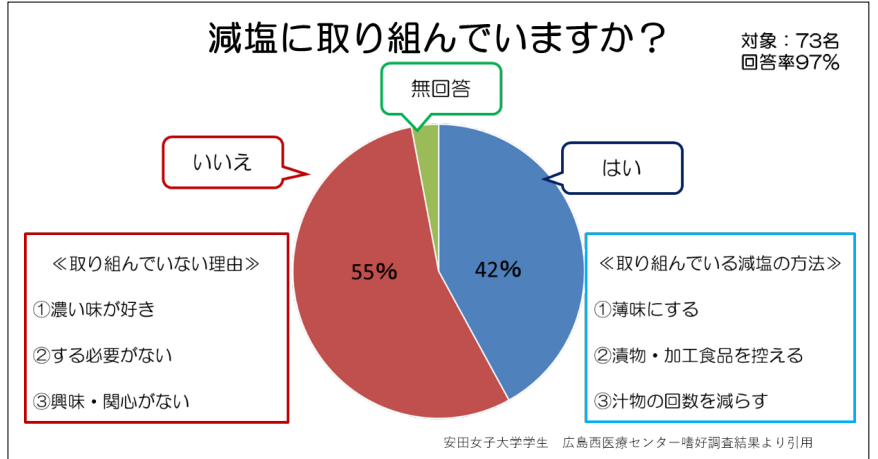


寒さが一段と厳しくなってきました。コロナ禍による運動不足や、年末年始のお食事により、普段と生活が変化してきた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

この時期は、汁物や煮込み料理を食べる機会や、おせち等で加工食品を食べる機会も増えることで塩分の摂取量が多くなります。

みなさんは、「普段のお食事の塩分量は気にされていますか？」

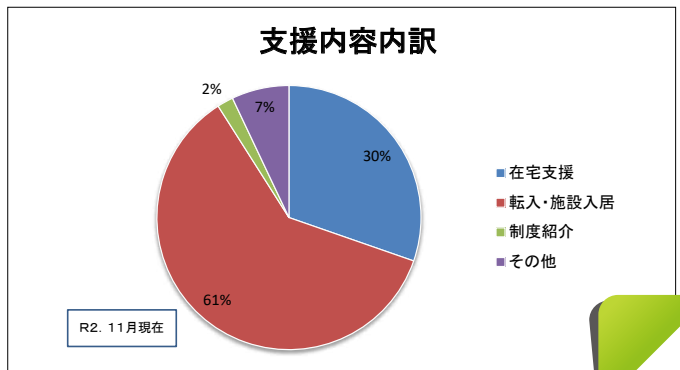
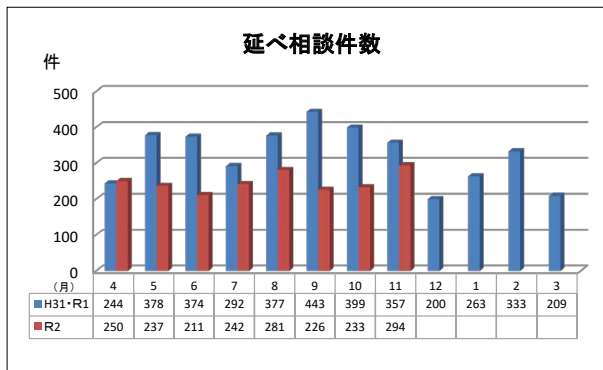
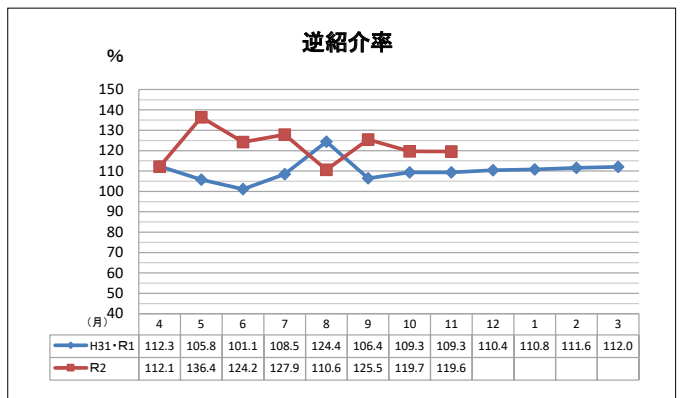
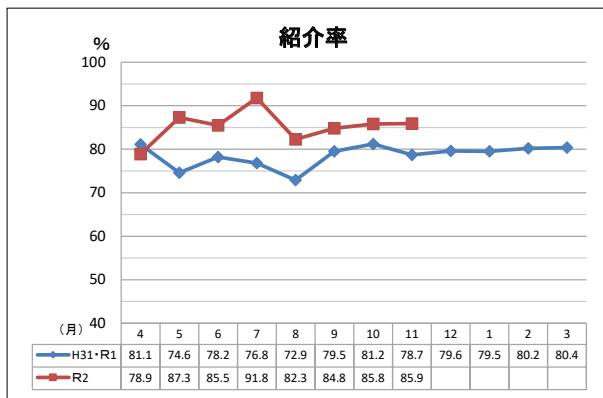
昨年の11月、当院の入院患者様に、減塩の取り組みについてお伺いしました。「減塩に取り組んでいない」と回答した方は全体の約半数でした。その理由のひとつに「方法がわからない」との回答もあったため、ご家庭でできる「減塩のポイント」をお話しします。みなさんのご家庭でも、「減塩のポイント」を参考にさせていただきます。



家庭でできる『減塩のポイント』

- ◎だしをかきせる
- ◎揚げ物、焼き物など香ばしさを活かす
- ◎香辛料（わさび・からし・七味・マスタードなど）を利用する
- ◎醤油などの調味料はかけるのではなく、小皿に出してつける（表面に味をつける）
- ◎酸味（酢・レモン・ゆずなど）を利用する
- ◎味噌汁などの汁物は1日1杯にし、具たくさんにする
- ◎香味野菜（生姜・しそ・みょうが・みつばなど）を利用する
- ◎麺類の汁や煮物類の煮汁は飲まない
- ◎加工食品を減らし、旬の新鮮素材を選ぶ

地域医療連携室実績報告



●●● 外来診療担当医表 ●●●

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

広島西医療センター

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

■…前号からの変更箇所

令和3年 1月 4日現在

		月	火	水	木	金	備考	
総合診療科	初診	生田 卓也	亀谷 貴浩	亀谷 貴浩	生田卓也/亀谷貴浩	生田 卓也	下記の専門領域以外の新患	
	再診	亀谷 貴浩	生田 卓也	生田 卓也	亀谷貴浩/生田卓也	亀谷 貴浩	木曜日初診・再診隔週	
内科	1診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)	下村壮司(血液)	広大(呼吸器)	再診外来予約制	
	2診	消化器/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)	山中秀彦(消化管)	兒玉英章(肝臓)		藤堂祐子(消化管)
	3診	内分泌代謝/糖尿病	/	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)	太田逸朗(内分泌代謝・糖尿病)		/
	4診	血液	/	広大(血液)	黒田芳明(血液)	黒田芳明(血液)		新患担当医(血液)
	5診	循環器	藤原 仁(循環器)	/	藤原 仁(循環器)	広大(循環器)		藤原 仁(循環器)
	6診	腎臓/血液	倉恒正利(腎臓)	倉恒正利(腎臓)	/	/		広大(血液)
脳神経内科	1診	山本優美子	黒田 龍	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制	
	2診	牧野 恭子 (パーキンソン病)	渡邊千種(物忘れ) (第2・4・5)	黒田 龍	檜垣 雅裕 (頭痛)	黒田 龍	予約制 PM	
CAPD 外来		倉恒 正利	倉恒 正利	/	倉恒 正利	倉恒 正利	予約制 PM	
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM	
禁煙 外来		/	担当医	/	/	/	14時~16時 予約制	
小児科	一般外来	大野 綾香	/	/	/	/	受付13時~16時 予防接種は13時~14時(予約制)	
		/	/	/	大野綾香・(予防接種)	/		
	専門外来	小児筋ジストロフィー	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	古川年宏・玉浦 萌	予約制
		重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	
		発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
		小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
神経外来	/	/	/	/	石川暢恒(第3)			
補装具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制	
外科	初診	石崎 康代	今岡 泰博	嶋谷 邦彦	米神 裕介	嶋谷/今岡/石崎/米神	金曜日交代制	
	再診	嶋谷 邦彦	米神 裕介	石崎 康代	今岡 泰博			
整形外科	初診	宗盛 優	櫻井 悟	永田 義彦	/	根木 宏	木曜日手術日	
	再診	根木 宏	永田 義彦	根木 宏	/	永田 義彦		
	再診	(永田義彦/櫻井 悟)	宗盛 優/(根木 宏)	櫻井 悟/(宗盛 優)	/	宗盛 優/(櫻井 悟)	月曜日()手術	
泌尿器科	1診	神明 俊輔	神明 俊輔	神明 俊輔	藤井 慎介	神明 俊輔		
	2診	山中 亮憲	浅野 耕助	浅野 耕助	山中 亮憲	浅野 耕助		
産婦人科		新甲 靖	/	/	新甲 靖	/	予約制	
皮膚科		稲束有希子	稲束有希子	/	稲束有希子	稲束有希子	水曜日手術日	
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日	

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151 ■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室 ダイヤルイン (0827)57-7183(内線2140) FAX (0827)57-7701